

## Plant Buffer P5

整理番号 MFB-0066  
版番号 01  
改正日 2019年6月3日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Plant Buffer P5
製造元の会社情報	株式会社アニモス 〒333-0844 埼玉県川口市上青木3-12-18 659研究室
供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽一丁目4番14号 後楽森ビル18階 電話番号：03-3813-0961 ファックス番号：03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号：03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分) Eメール：info@genetics-n.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	試験・研究用

## 2. 危険・有害性の要約

GHS分類	分類できない
他の有害性情報	適当な保護衣、手袋及び眼/顔面用保護具を着用する。 皮膚及び眼との接触を避ける。 眼と接触した場合は、直ちに大量の水で洗い医師の診断を受ける。
その他の情報	内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物
危険有害性	特になし

## 4. 応急処置

一般的な初期手当	事故が起きた時或いは気分が悪い場合、直ちに医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努める。気分が悪い場合は医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	石鹸と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合	直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、大量の水で薄める。気分が悪い場合には医師の手当てを受ける。

## 5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素など
使ってはならない消火剤	棒状水
火災時の特有危険有害性	火災時に刺激性もしくは有害なヒューム（またはガス）が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
消火を行う者の保護	燃焼又は高温により有害なガスが発生するので、呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	屋内作業場における取扱い場所では、全体換気を行うか局所排気装置を使用する。
安全取扱注意事項	容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気、ミストなどを発生させない。 使用後は容器を密閉する。
衛生対策	取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
保管 適切な保管条件	日光を遮断し、冷暗所に密閉して保管する。
混触禁止物質	強酸化性物質、酸化剤など
安全な容器包装材料	ガラス、プラスチックなど（密閉できる容器）

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。	
管理濃度 作業環境評価基準	設定されていない	
許容濃度	日本産業衛生学会	設定されていない
	ACGIH TLV-TWA	設定されていない
	OSHA PEL-TWA	設定されていない
保護具 呼吸器の保護具	保護マスク	
手の保護具	保護手袋	
目の保護具	保護眼鏡	
皮膚及び身体の保護具	保護衣・保護長靴	
適切な衛生対策	マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。	

## 9. 物理的及び化学的性質

形状	液体
色	無色透明
臭い	弱い特異臭
pH	7~9
融点	データなし
沸点	データなし
引火点	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度 (空気=1)	データなし
比重	データなし
溶解性	水と任意の割合で混和する。
<i>n</i> -オクタノール/水分分配係数log Po/w	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性	データなし
危険有害反応性	通常の実験条件において安定。
避けるべき条件	日光、熱、裸火、高温
危険有害な分解成分	データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性	(製品) データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	(製品) データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	(製品) データなし
生殖細胞変異原性	(製品) データなし
発がん性	(製品) データなし
生殖毒性	(製品) データなし
特定標的臓器毒性	(製品) データなし
吸引性呼吸器有害性	(製品) データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	(製品) データなし
残留性/分解性	(製品) データなし
生態蓄積性	(製品) データなし
土壌中の移動性	(製品) データなし
オゾン層への有害性	(製品) オゾン層破壊物質に該当しない。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
国連分類	非該当
海洋汚染物質	非該当
注意事項	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

### 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
化学物質管理促進法	非該当
化審法	非該当
消防法	非該当
船舶安全法（危規則）	非該当
航空法	非該当

### 16. その他の情報

#### 引用文献等

日本化学工業協会GHS対応ガイドライン、平成20年10月  
JIS Z 7253：2012  
日本産業衛生学会（2010）  
ACGIH（2013）  
CLP 規則準拠 等・他

#### 記載内容の取扱い

この安全データシートは、日本工業規格（JIS Z 7253：2012）に沿って作成致しました。本記載内容は代表値であり、規格、および保証値を示すものではありません。全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。推奨される産業衛生措置および安全な取扱い方法は、通常の取扱いにおいて適用した方がよいと思われる内容を記載しておりますので具体的な用途や取扱い条件に照らして、推奨事項が適切かどうかご検討の上ご判断頂くようお願い致します。

